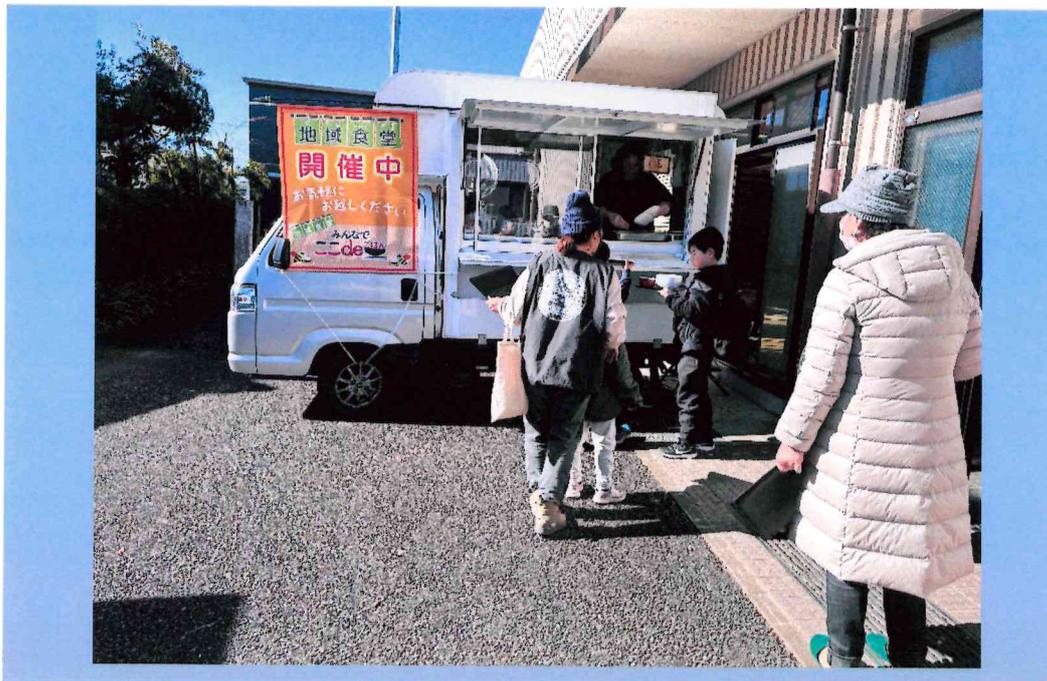


坂戸市提案型協働事業報告会



地域食堂みんなでここdeごはん



地域食堂みんなでここdeごはん

目的・実施概要

・目的

食事を通じて地域の皆さんが気軽に集まれる場所を提供し孤食の解消、人と関われる場所を提供する。
食事の提供する場所を、地域内を巡回する形で開催して交通の不便な方たちにもアクセスしやすい場所とする。

・実施日

2025年7月1日～2026年2月28日

・実施時間

11時30分～14時（最終受付 13時30分）

・開催場所

中小坂（上）集会所、三芳野地域交流センター、
東坂戸団地内ふれあいスペース103

参加状況

参加人数

大人 : 79人
中高生 : 2人
小学生 : 63人
未就学児 : 43人

ボランティア

学生 : 3人 (Instagramから)
40代～50代 : 3人 (Instagram、知人)



提供したメニュー

(一部)



食材提供者

- JAさん
- 株 明治さん
- 大澤農園さん
- 地元の新井さん
- 地元のYさん
- マツコさん 他



会場の様子

中小坂（上）

集会所



中小坂は、子どもだけでもきてくれて、仲間同士で食事を楽しむ姿が見られます。年配の方も多く来られ、多世代が互いにやりながら過ごす「地域のつながり」を実感できる場となっています。

東坂戸団地
ふれあいスペース103

三芳野地域
交流センター



東坂戸団地は高齢者の方が多い地域ですが、駐車場があるため家族連れでも来やすい環境です。また、部屋の飾り付けを毎月変えていて、利用者にとっての魅力の一つとなっています。

三芳野地区は昔ながらの住宅が多く、情報周知が行き届きにくい面や交通の不便さがあります。それでも、地域食堂には毎回欠かさず来てくださる常連の方が多く、地域に根づいた場となっています。

課題達成度

① ボランティアの継続的な確保

・地域食堂の運営体制を強化するため、ボランティアの増員を目標の一つとして取り組んだ。

・募集方法としては、Instagramでの発信、ポスター掲示、開催時の来場者への声かけ、坂戸市広報掲示板、社会福祉協議会発行「はんどtoはんど」掲示板への掲載を行った。

その結果、単発のボランティアとして、学生3名（Instagram経由）、40代前後の地域住民6名（直接の声かけ）の参加があった。

一方で、当初目標としていた継続的に関わる仲間づくりには至らなかった。

② 開催場所により周知のしかた

・地域によって認知度に大きな差があることが課題として見えてきた。

特に三芳野地区においては、地域食堂の存在自体を知らない住民がまだ多い状況である。

ポスター掲示を中心に周知を行ってきたが、日常的に目に留まりにくいことや、インターネットを利用しない世代への情報伝達が十分ではなかったと考えられる。

一方で、周知を強化しすぎることで、現在の運営体制では対応しきれないほど参加者が増える可能性もあり、「知ってほしいが、増えすぎても困る」というジレンマもある。

③ 運営の属人化と役割分担

・準備・当日の対応・片付け・関係機関との調整など、多くの業務を3人でやっている。

ボランティアの参加はあっても、役割が明確でない場合には結果として運営の負担が増えてしまう。

ボランティアが安心して関われるよう、当日の作業内容を事前に書面化し、役割や流れを共有する工夫を行った。

これにより、当日その場で指示を待つのではなく、書面を確認しながら主体的に動いてもらえる体制づくりを試みた。

課題解決に向けた提案

① ボランティアの継続的確保

- ① 「継続」を前提にしない参加の形を明確にする
継続的な確保を目指す一方で、参加のハードルが高くなならないよう、「毎回参加しなくてよい」「できる時だけ関わる」など、無理のない関わり方を
する。
- ② 作業内容・役割の「見える化」を継続する
当日の作業内容を事前に書面で共有する取り組みを今後も継続し、
初参加でも安心して動ける環境を整える。
- ③ 短時間・部分参加ができる仕組みづくりも検討
調理補助、配膳、片付けなど、短時間・一部作業のみの参加も可能であることを
考えたい。

② 開催場所による周知のしかた

ごとに地域の特徴が異なるため、今後は一律の周知ではなく、
開催場所や地域性に応じた周知方法を検討する。

特に三芳野地区においては、インターネットを利用しない世代も多いことか
ら、
ポスター掲示や関係機関を通じた声かけなど、対面・紙媒体を中心とした周
知を継続していく。

③ 運営の属人化と役割分担

現在、地域食堂の運営は中心となる3名で役割分担を行い、安定した運営が
できている。

一方で、役割が特定の人に固定されているため、急な欠席時の対応や、将来
的な引き継ぎが難しいという課題がある。

また、単発ボランティアや参加者が、準備・片付けなどの一部作業に関われ
る仕組みを整えることで、中心メンバー3名の負担軽減と、運営の安定化を
図る。

役割を増やすことや人員を大幅に増やすことを目的とするのではなく、
誰か一人が欠けても運営が継続できる体制を今後の目標とする。

協働課との連携

高齢者福祉課：開催場所の調整や駐車場の確保など

こども家庭センター：食品受け渡し、周知活動 など

協働課と情報共有を行い、地域の実情に合った形で事業を継続していきたい。

まとめ

本協働事業を通して、ボランティアの継続的な確保、開催場所ごとの周知方法、運営の属人化など、今後に向けた課題が明確になった。

一方で、作業内容の書面化や役割分担の整理など、運営を安定させるための工夫にも取り組むことができた。

今後は、活動規模を無理に拡大するのではなく、地域や運営体制に合った形で、無理なく継続できる地域食堂を目指していく。



みんなでここdeごはん

- 予約開始は開催日の2週間前の月曜日になります。
- 世代を問わず、誰でも参加できます。 ※予約は変更になる可能性もあります



7月5日 (土)	三芳野地域交流センター
8月27日 (水)	東坂戸団地ふれあいスペース103
9月20日 (土)	三芳野地域交流センター
10月23日 (土)	中小坂（上）集会所
11月22日 (土)	三芳野地域交流センター
12月20日 (土)	中小坂（上）集会所
1月17日 (土)	東坂戸団地ふれあいスペース103
2月7日 (土)	三芳野地域交流センター

※ボランティアさん募集してます。



坂戸市提案型協働事業収支決算書（12月末現在）

団体名：地域食堂みんなでここdeごはん

（収 入）

区 分	予算額（円）	決算額（円）	説 明
補助金	100,000	100,000	坂戸市提案型協働事業補助金
料金収入	80,000	37,600	7月～12月まで6回開催
		13,000	1月～2月まで2回開催予定分見込
賛助金	10,000	0	
合 計	190,000	150,600	

（支 出）

区 分	予算額（円）	決算額（円）	説 明
材料費	96,000	44,397	7月～12月まで6回開催
		15,000	1月～2月まで2回開催予定分見込
備品	70,000	60,144	食器、炊飯器、冷蔵庫、折畳みテーブル
消耗品	23,000	7,575	衛生用品、事務用品等
会場使用料	1,000	1,500	東坂戸ふれあいスペース103
雑費	0	1,500	ボランティア食事代
合 計	190,000	130,116	